令和７年度決算報告

高千穂町の財政事情

令和７年度の一般会計収支決算は、歳入が前年度比4億2984万円(4.0%)の増、歳出が前年度比2405万円(0.2%)の減となりました。災害復旧事業を中心に８年度への繰り越しとなった事業もあります。

ここでは町民の皆様から納めていただいた税金や、国・県から交付された財源がどれだけで、どのように活用されたかご報告します。

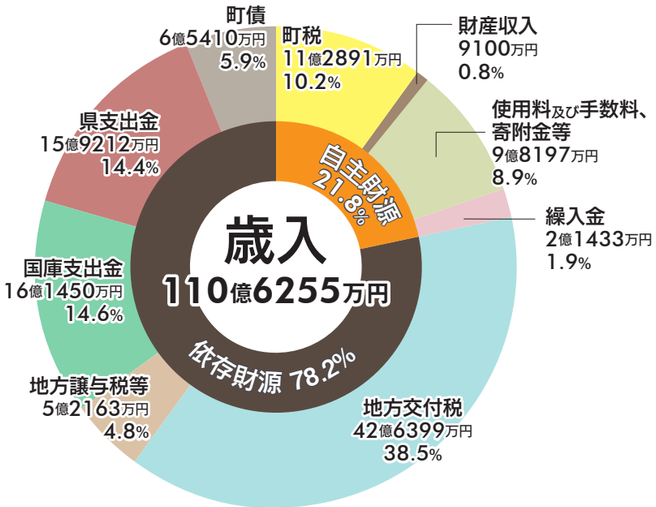
※単位未満を端数処理しています。

01 一般会計　歳入

観光駐車場使用料の増加、国の交付金の増加

自主財源が24億1621万円、依存財源が86億4634万円となっています。自主財源である使用料が、観光駐車場の本格稼働に伴う増収等により、前年度比6426万円(46.6%)の増となりました。

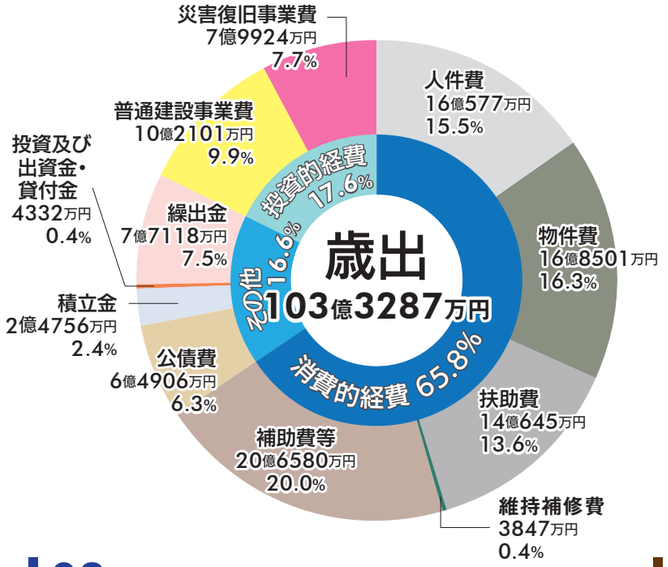
依存財源の大半を占める地方交付税は、物価高騰を背景に、普通交付税の追加交付が行われたこともあり、前年度比1億1602万円(2.8%)の増となりました。各種事業執行にあたり、歳入の確保ができたため、財政調整基金の取崩しは行なっておりません。



02 一般会計　歳出

物価高騰の影響を受けた各種費用の増加、災害復旧事業の減

物価高騰の影響を受け、人件費や物件費を含む、消費的経費は、前年度比2億3139万円(3.5%)の増となりました。投資的経費は、令和4年度発生の災害復旧工事費と、道路改良や施設改修等の普通建設事業費合計で、前年度比3億9268万円(21.6%)の減となりました。災害復旧事業費が前年度に比べ大幅に減となったことが要因で、今後、新たな災害の発生がなければ、来年度以降の歳出も減となる見込みです。歳入が増加したことに伴い、歳出として財政調整基金に1億2765万円の積立を行いました。



03 特別会計

(単位：万円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	収支
国民健康保険事業	16億3250	16億3051	199
簡易水道事業	1億1079	1億673	406
西臼杵介護認定審査会事業	895	878	17
介護保険事業	17億2628	16億6242	6386
後期高齢者医療保険事業	2億3059	2億2948	111
小水力発電事業	1159	1158	1

04 公営企業会計

(単位：万円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	収支
上水道事業			
収益的収支	1億6810	1億3441	3369
資本的収支	1億2935	1億6820	△3885
下水道事業			
収益的収支	2億1475	1億7084	4391
資本的収支	3251	1億3	△6752

05 健全化判断比率・資金不足比率

健全化基準の数値を下回り、健全な財政運営

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、地方公共団体は毎年度、実質的な赤字や将来負担などにかかる指標（健全化判断比率）と、公営企業の資金不足率（資金不足比率）を監査委員の審査に付したうえで、議会に報告し公表することとされています。

この指標は、一般会計だけでなく、公営企業会計等も併せて町全体としての財政状況を確認するものです。高千穂町は、いずれの比率についても国の定める基準を下回っており、健全な財政運営と認められます。

健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
令和7年度	―	―	5.9%	―
(前年度)	(―)	(―)	(6.6%)	(―)
早期健全化基準	14.83%	19.83%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.0%	30.0%	35.0%	

資金不足比率

(単位：万円)

会計名	資金不足額	資金余剰額	資金不足比率
水道事業会計	0	4億1714	―
下水道事業	0	1億2154	―
簡易水道事業	0	406	―
小水力発電事業	0	1	―

06 町民一人あたりでみる歳出決算額 (一般会計)

町民一人あたり99万3641円で前年度より2万1890円増額（令和8年3月31日現在の人口1万399人で算出）

カッコ書きは前年度からの増減額

農林水産業費・商工費

産業振興や商工業の育成、観光振興のために

17万1558円 (6783円)



教育費

教育の充実や、文化、スポーツ向上のために

6万883円 (6048円)



土木費

道路や橋などの整備や維持管理のために

9万832円 (△4471円)



民生費

福祉の向上、充実のために

24万8291円 (1万1080円)



公債費

社会資本整備等のために借り入れたお金の返済

6万2416円 (△3672円)



衛生費

ゴミ・し尿処理や、町民の健康を守るために

8万5311円 (169円)



総務費・議会費

議会、役場運営等のために

16万7294円 (3万9032円)



災害復旧費・消防費

災害の復旧や消防の運営のために

10万7055円 (△3万3080円)



07 町 (一般会計) の預金と借入について

一般会計では財源調整や将来の公共施設整備等に備えるため基金を管理しています。また、各種事業に充てるため起債（国や金融機関からの借入）も行っています。

令和7年度末の基金残高は、財政調整基金11億4760万円となり、その他の基金を合わせて合計29億8227万円となっています。起債残高は60億1434万円となりました。

残高はそれぞれ適正とされる水準を保っていますが、引き続き同水準を保ちながら有効な利活用を図っていきます。

一人あたりの預金 (基金) と借金 (起債) の残高

（令和７年度末時点）

預金 (基金)	借金 (起債)
28 万 6786 円	57 万 8358 円



